

Myoshin-ji Temple

妙心寺 庫裏ほか2棟

京都市右京区 庫裏及び附廊下 | 承応3年(1654)
玄関 | 明暦2年(1656)
事業期間：令和6年2月～令和9年3月(予定)

妙心寺は臨済宗妙心寺派の大本山です。開基を花園法皇、開山を関山慧玄として南北朝時代に創建されました。中世の動乱期には一時中絶を見ましたが、その後再興され、近世には大きく繁栄しました。

本山伽藍として三門・仏殿・法堂・大方丈をはじめとする数々の歴史的建造物を擁し、さらにその周囲には数多くの塔頭が建ち並び、比類なき一大寺院群を形成しています。

庫裏及び附廊下 重文《修理中》

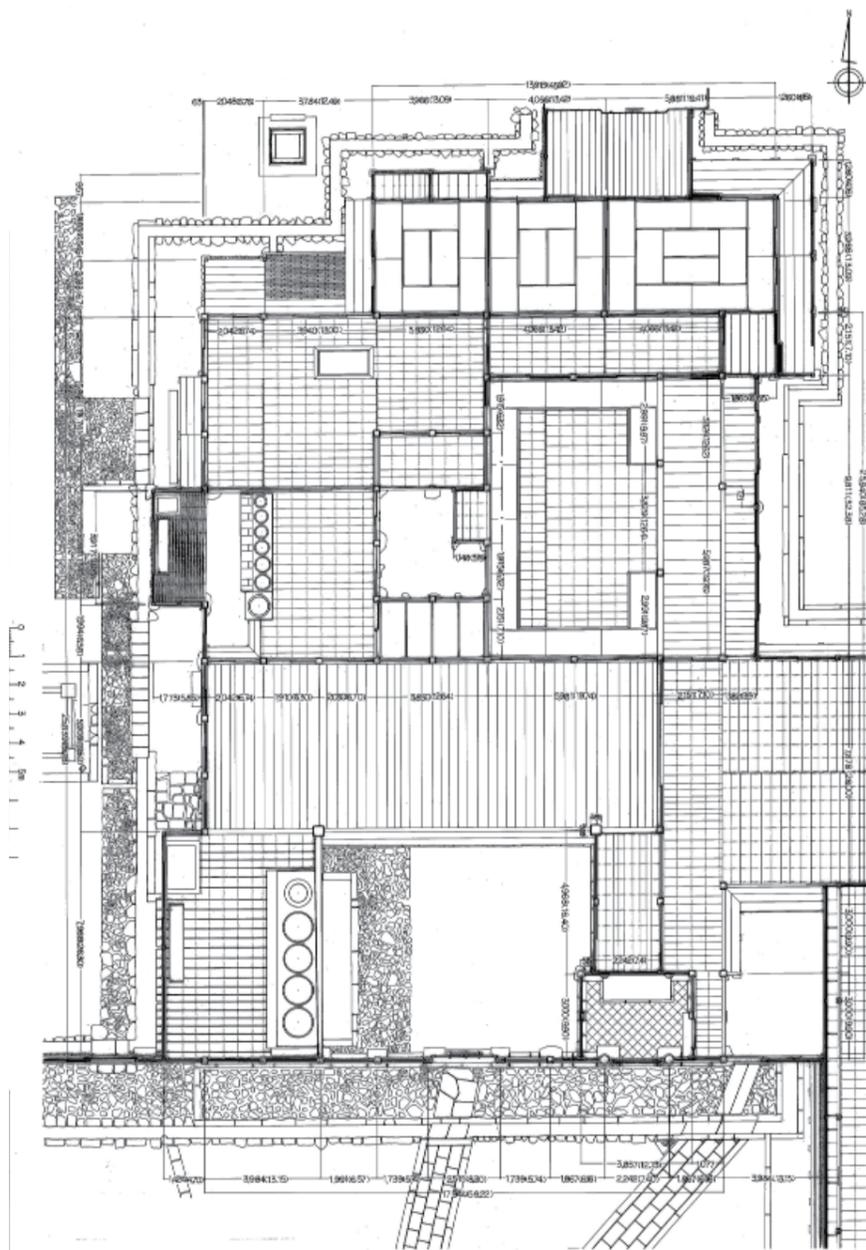
庫裏は桁行25・8メートル、梁間17・9メートルの規模を持ち、廊下を附属させます。承応3年(1654)に開山300年の遠忌事業の一環として建立されました。

禅宗本山寺院の庫裏としてふさわしい規模と意匠を備え、日常・非日常を問わず活発に利用されてきました。

建物は切妻造、妻入、こけら葺で、屋根の西流れには二つの煙出しを設けています。

修理の内容

平成9年の半解体修理以降27年が経過し、こけら葺屋根に各所で雨漏りが発生していたため、屋根葺替修理を実施します。あわせて耐震診断の結果必要となった耐震補強工事を行います。



庫裏 平面図

玄関 重文《未着手》

玄関は桁行五間、梁間一間、唐破風造、檜皮葺の建物で、大方丈の玄関としてその南西に接続します。庫裏と同様、開山300年の遠忌事業の一環として、明暦2年(1656)に建立されました。

修理の内容

昭和期の屋根葺替修理以降、大きな修理を受けておらず、檜皮葺屋根には各所で雨漏りが発生していたため、屋根葺替修理を実施することとなりました。あわせて耐震診断の結果必要となった耐震補強工事を行います。



玄関 修理前 外観



庫裏 修理前の屋根の状況



庫裏 修理前 外観